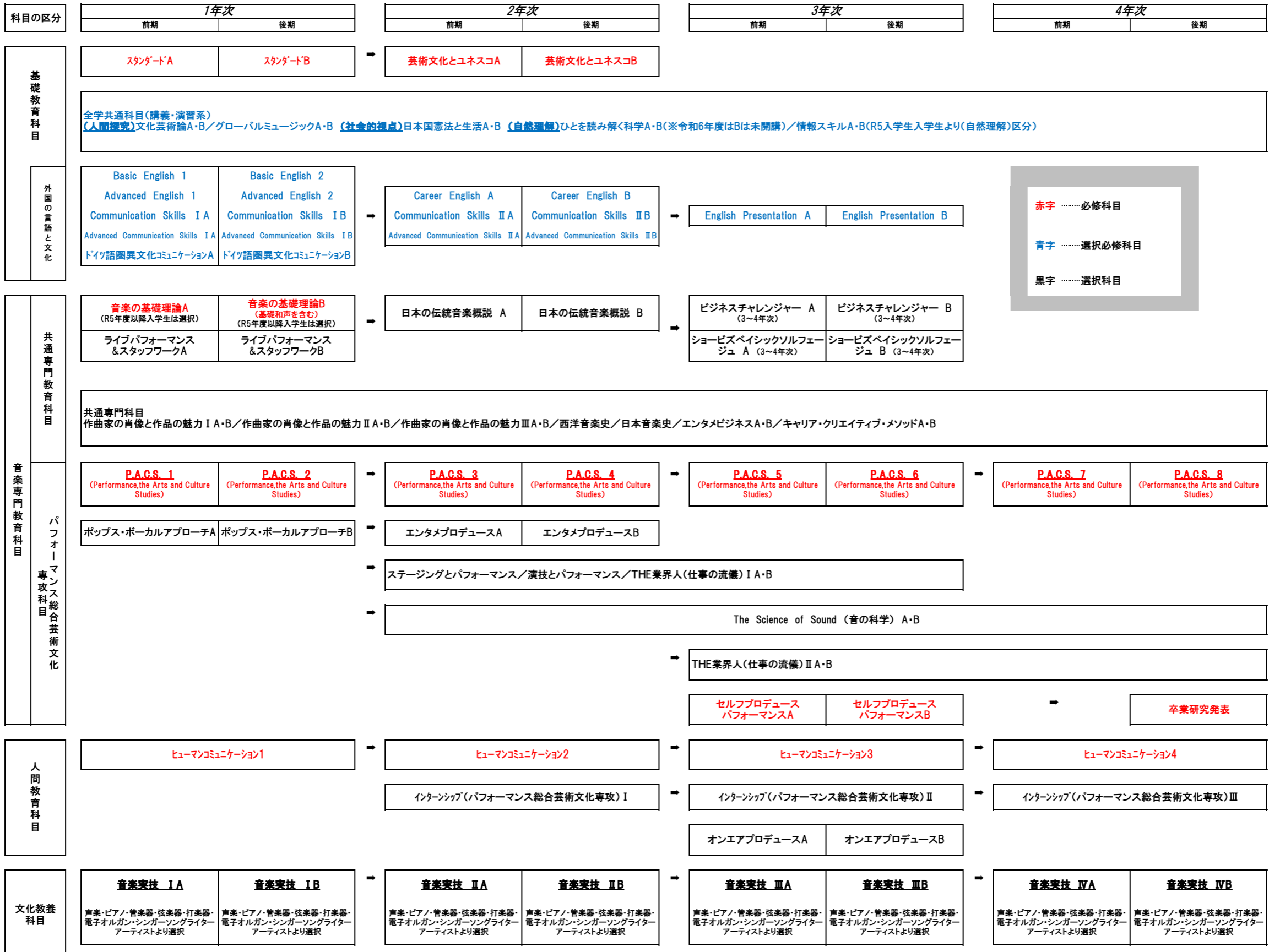


令和6年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【パフォーマンス総合芸術文化専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)



赤字 必修科目
青字 選択必修科目
黒字 選択科目

カリキュラムポリシー

知識・技能
 教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。
 広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。
 専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。
 高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。

思考力・判断力・表現力
 専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブ・ラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性
 国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。
 身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

建学の精神・教育の理念「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を旨とする」

知識・技能
 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
 エンターテインメントに関する専門的知識・技能を修得し、自らの発想及び思考を適切に表現することができる。
 国際的な視野に立った広範な文化の理解
 ・エンターテインメントを含む芸術作品の歴史や社会背景を理解し、さまざまな視点をもちとることができる。
 ・エンターテインメントを取り巻く時代の変化に的確に対応し、多様なイベント等を企画、立案することができる。
 ・自身のパフォーマンス、スタッフワーク及びコミュニケーションのあり方を卒業作品発表において表現することができる。

思考力・判断力・表現力
 現代社会に必要とされるコミュニケーション能力
 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力
 自己発信のプレゼンテーション能力

ディプロマポリシー
 専門分野を超えて問題を探求する姿勢
 国際感覚を身に付け、世界に踏み出そうとする意欲
 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)
 生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)
 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

令和6年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【教職実践専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)

カリキュラムポリシー

知識・技能
 教養と技能およびキャリアを育む
 広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。
 専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。
 高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。

思考力・判断力・表現力
 専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性
 国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。
 身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

科目の区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎教育科目	スタンダード I A	スタンダード I B	スタンダード II A (R5年度以降入学生は選択)	スタンダード II B (R5年度以降入学生は選択)				
	全学共通科目(講義・演習系) (人間探究)哲学A・B(※令和6年度は未開講)/文化芸術論A・B/コミュニケーション論(社会的視点)日本国憲法と生活A・B/国際理解と交流A・B/社会福祉概論[老人・児童福祉を含む]A・B(自然理解)ひとを読み解く科学A・B(※令和6年度は未開講)/現代の心理学[発達心理を含む]A・B/コンピュータ演習A・B スポーツ演習 スポーツ文化論 教職入門(人間探究) 教育心理学(自然理解) 教育学概説(社会的視点) 教育相談・進路指導(人間探究)							
外国の言語と文化	ドイツ語1 英語1 イタリア語1 ドイツ語圏異文化コミュニケーション1 英語圏異文化コミュニケーション1 イタリア語圏異文化コミュニケーション1	ドイツ語2 英語2 イタリア語2 ドイツ語圏異文化コミュニケーション2 英語圏異文化コミュニケーション2 イタリア語圏異文化コミュニケーション2	ドイツ語3 英語3 イタリア語3 ドイツ語圏異文化コミュニケーション3 英語圏異文化コミュニケーション3 イタリア語圏異文化コミュニケーション3	ドイツ語4 英語4 イタリア語4 ドイツ語圏異文化コミュニケーション4 英語圏異文化コミュニケーション4 イタリア語圏異文化コミュニケーション4				
	ウィーンの社会と文化A (R5年度以降入学生は選択) ウィーンの社会と文化B (R5年度以降入学生は選択) 和声学1 和声学2 和声学3 和声学4 音楽の基礎理論A 音楽の基礎理論B 音楽における情報機器の活用 民族音楽学A 民族音楽学B 特別支援を必要とする生徒の理解 音楽史A 音楽史B 音楽療法概論 教育行政 音楽における情報機器の活用 道徳教育の指導法 特別活動の指導法 生徒指導の方法及び教育課程の意義と編成 総合的な学習の時間の指導法 教育総合科目(教職実践) I A 教育総合科目(教職実践) I B 教育総合科目(教職実践) II A 教育総合科目(教職実践) II B インターンシップ(教職実践専攻) II (R4年度まで入学生のみ履修可) 教育現場体験(教職実践専攻) I (R5年度以降入学生のみ履修可) 教育現場体験(教職実践専攻) II (R5年度以降入学生のみ履修可)							
共通専門教育科目	和声学1 和声学2 和声学3 和声学4 音楽の基礎理論A 音楽の基礎理論B 音楽における情報機器の活用 民族音楽学A 民族音楽学B 特別支援を必要とする生徒の理解 音楽史A 音楽史B 音楽療法概論 教育行政 音楽における情報機器の活用 道徳教育の指導法 特別活動の指導法 生徒指導の方法及び教育課程の意義と編成 総合的な学習の時間の指導法 教育総合科目(教職実践) I A 教育総合科目(教職実践) I B 教育総合科目(教職実践) II A 教育総合科目(教職実践) II B インターンシップ(教職実践専攻) II (R4年度まで入学生のみ履修可) 教育現場体験(教職実践専攻) I (R5年度以降入学生のみ履修可) 教育現場体験(教職実践専攻) II (R5年度以降入学生のみ履修可)							
	共通専門科目(講義系) 指揮法(1~3年次)/音楽文化論A・B/日本音楽史概説A・B/日本の伝統音楽概論A・B(1~3年次)(R5年度以降入学生は選択)/音楽療法的音楽論/音楽心理学A・B/現代音楽教師論(R5年度以降入学生は選択※令和6年度は未開講) 音楽と仕事(3年次)(※令和6年度は未開講)/作品研究[鍵盤]A・B/作品研究[管弦楽]A・B/作品研究[オペラ]A・B/作品研究[歌曲]A・B/アジア音楽文化論							
音楽専門教育科目	音楽実技 1 Vo・Pf・管弦打	音楽実技 2 Vo・Pf・管弦打	音楽実技 3 Vo・Pf・管弦打	音楽実技 4 Vo・Pf・管弦打	音楽実技 5 Vo・Pf・管弦打	音楽実技 6 Vo・Pf・管弦打	音楽実技 7 Vo・Pf・管弦打	音楽実技 8 Vo・Pf・管弦打
	教職実践専攻 ピアノ/指導者を目指す人のための音楽教育学入門A(1~3年次) ピアノ/指導者を目指す人のための音楽教育学入門B(1~3年次) 合唱 I A 合唱 I B 合唱 II A 合唱 II B 合唱 III A 合唱 III B 合唱 IV A 合唱 IV B ピアノ/選択生は履修不可 声楽/選択生は履修不可 副科ピアノ I A 副科ピアノ I B 副科声楽 I A 副科声楽 I B 副科管弦打楽器 I A 副科管弦打楽器 I B 副科ピアノ II A 副科ピアノ II B 副科管弦打楽器 II A 副科管弦打楽器 II B 副科ピアノ III A 副科ピアノ III B ソルフェージュ 1 ソルフェージュ 2 ソルフェージュ 3 ソルフェージュ 4 キーボード/ハーモニカ キーボード/ハーモニカ オペラ研究 I A オペラ研究 I B オペラ研究 II A オペラ研究 II B フェンハロ研究 I A フェンハロ研究 I B フェンハロ研究 II A フェンハロ研究 II B 室内楽 I A 室内楽 I B 室内楽 II A 室内楽 II B 室内楽 III A 室内楽 III B 室内楽 IV A 室内楽 IV B 木管楽器クラス/金管楽器クラス/打楽器クラス/弦楽器クラス 木管楽器クラス/金管楽器クラス/打楽器クラス/弦楽器クラス オークストラ I A オークストラ I B オークストラ II A オークストラ II B オークストラ III A オークストラ III B オークストラ IV A オークストラ IV B ウインドオーケストラ I A ウインドオーケストラ I B ウインドオーケストラ II A ウインドオーケストラ II B ウインドオーケストラ III A ウインドオーケストラ III B ウインドオーケストラ IV A ウインドオーケストラ IV B							
声楽	ソルフェージュ 1 ソルフェージュ 2 ソルフェージュ 3 ソルフェージュ 4 キーボード/ハーモニカ キーボード/ハーモニカ オペラ研究 I A オペラ研究 I B オペラ研究 II A オペラ研究 II B フェンハロ研究 I A フェンハロ研究 I B フェンハロ研究 II A フェンハロ研究 II B 室内楽 I A 室内楽 I B 室内楽 II A 室内楽 II B 室内楽 III A 室内楽 III B 室内楽 IV A 室内楽 IV B 木管楽器クラス/金管楽器クラス/打楽器クラス/弦楽器クラス 木管楽器クラス/金管楽器クラス/打楽器クラス/弦楽器クラス オークストラ I A オークストラ I B オークストラ II A オークストラ II B オークストラ III A オークストラ III B オークストラ IV A オークストラ IV B ウインドオーケストラ I A ウインドオーケストラ I B ウインドオーケストラ II A ウインドオーケストラ II B ウインドオーケストラ III A ウインドオーケストラ III B ウインドオーケストラ IV A ウインドオーケストラ IV B							
	声楽/選択生のみ必修⇒ 朗読法 A [ドイツ語] 朗読法 B [イタリア語] ピアノ/アンサンブル A ピアノ/アンサンブル B ピアノ/伴奏法 I A ピアノ/伴奏法 I B フェンハロ研究 I A フェンハロ研究 I B フェンハロ研究 II A フェンハロ研究 II B 室内楽 I A 室内楽 I B 室内楽 II A 室内楽 II B 室内楽 III A 室内楽 III B 室内楽 IV A 室内楽 IV B 木管楽器クラス/金管楽器クラス/打楽器クラス/弦楽器クラス 木管楽器クラス/金管楽器クラス/打楽器クラス/弦楽器クラス オークストラ I A オークストラ I B オークストラ II A オークストラ II B オークストラ III A オークストラ III B オークストラ IV A オークストラ IV B ウインドオーケストラ I A ウインドオーケストラ I B ウインドオーケストラ II A ウインドオーケストラ II B ウインドオーケストラ III A ウインドオーケストラ III B ウインドオーケストラ IV A ウインドオーケストラ IV B							
ピアノ	ソルフェージュ 1 ソルフェージュ 2 ソルフェージュ 3 ソルフェージュ 4 キーボード/ハーモニカ キーボード/ハーモニカ オペラ研究 I A オペラ研究 I B オペラ研究 II A オペラ研究 II B フェンハロ研究 I A フェンハロ研究 I B フェンハロ研究 II A フェンハロ研究 II B 室内楽 I A 室内楽 I B 室内楽 II A 室内楽 II B 室内楽 III A 室内楽 III B 室内楽 IV A 室内楽 IV B 木管楽器クラス/金管楽器クラス/打楽器クラス/弦楽器クラス 木管楽器クラス/金管楽器クラス/打楽器クラス/弦楽器クラス オークストラ I A オークストラ I B オークストラ II A オークストラ II B オークストラ III A オークストラ III B オークストラ IV A オークストラ IV B ウインドオーケストラ I A ウインドオーケストラ I B ウインドオーケストラ II A ウインドオーケストラ II B ウインドオーケストラ III A ウインドオーケストラ III B ウインドオーケストラ IV A ウインドオーケストラ IV B							
	声楽/選択生のみ必修⇒ 朗読法 A [ドイツ語] 朗読法 B [イタリア語] ピアノ/アンサンブル A ピアノ/アンサンブル B ピアノ/伴奏法 I A ピアノ/伴奏法 I B フェンハロ研究 I A フェンハロ研究 I B フェンハロ研究 II A フェンハロ研究 II B 室内楽 I A 室内楽 I B 室内楽 II A 室内楽 II B 室内楽 III A 室内楽 III B 室内楽 IV A 室内楽 IV B 木管楽器クラス/金管楽器クラス/打楽器クラス/弦楽器クラス 木管楽器クラス/金管楽器クラス/打楽器クラス/弦楽器クラス オークストラ I A オークストラ I B オークストラ II A オークストラ II B オークストラ III A オークストラ III B オークストラ IV A オークストラ IV B ウインドオーケストラ I A ウインドオーケストラ I B ウインドオーケストラ II A ウインドオーケストラ II B ウインドオーケストラ III A ウインドオーケストラ III B ウインドオーケストラ IV A ウインドオーケストラ IV B							
管弦打	ソルフェージュ 1 ソルフェージュ 2 ソルフェージュ 3 ソルフェージュ 4 キーボード/ハーモニカ キーボード/ハーモニカ オペラ研究 I A オペラ研究 I B オペラ研究 II A オペラ研究 II B フェンハロ研究 I A フェンハロ研究 I B フェンハロ研究 II A フェンハロ研究 II B 室内楽 I A 室内楽 I B 室内楽 II A 室内楽 II B 室内楽 III A 室内楽 III B 室内楽 IV A 室内楽 IV B 木管楽器クラス/金管楽器クラス/打楽器クラス/弦楽器クラス 木管楽器クラス/金管楽器クラス/打楽器クラス/弦楽器クラス オークストラ I A オークストラ I B オークストラ II A オークストラ II B オークストラ III A オークストラ III B オークストラ IV A オークストラ IV B ウインドオーケストラ I A ウインドオーケストラ I B ウインドオーケストラ II A ウインドオーケストラ II B ウインドオーケストラ III A ウインドオーケストラ III B ウインドオーケストラ IV A ウインドオーケストラ IV B							
	声楽/選択生のみ必修⇒ 朗読法 A [ドイツ語] 朗読法 B [イタリア語] ピアノ/アンサンブル A ピアノ/アンサンブル B ピアノ/伴奏法 I A ピアノ/伴奏法 I B フェンハロ研究 I A フェンハロ研究 I B フェンハロ研究 II A フェンハロ研究 II B 室内楽 I A 室内楽 I B 室内楽 II A 室内楽 II B 室内楽 III A 室内楽 III B 室内楽 IV A 室内楽 IV B 木管楽器クラス/金管楽器クラス/打楽器クラス/弦楽器クラス 木管楽器クラス/金管楽器クラス/打楽器クラス/弦楽器クラス オークストラ I A オークストラ I B オークストラ II A オークストラ II B オークストラ III A オークストラ III B オークストラ IV A オークストラ IV B ウインドオーケストラ I A ウインドオーケストラ I B ウインドオーケストラ II A ウインドオーケストラ II B ウインドオーケストラ III A ウインドオーケストラ III B ウインドオーケストラ IV A ウインドオーケストラ IV B							
人間教育科目	ヒューマンコミュニケーション 1 ヒューマンコミュニケーション 2 インターンシップ I インターンシップ II ヒューマンコミュニケーション 3 ヒューマンコミュニケーション 4 インターンシップ II							
	地域創造①(地域貢献として、オーケストラ等の指導) I A・I B 地域創造①(地域貢献として、オーケストラ等の指導) II A・II B 地域創造②(地域の学校等の授業等補助) I A・I B 地域創造②(地域の学校等の授業等補助) II A・II B							
文化教養科目	コンピュータミュージック演習 I A コンピュータミュージック演習 I B コンピュータミュージック演習 II A コンピュータミュージック演習 II B							
課外講座	キャリアガイダンス特別講座 教員採用試験受験特別講座							

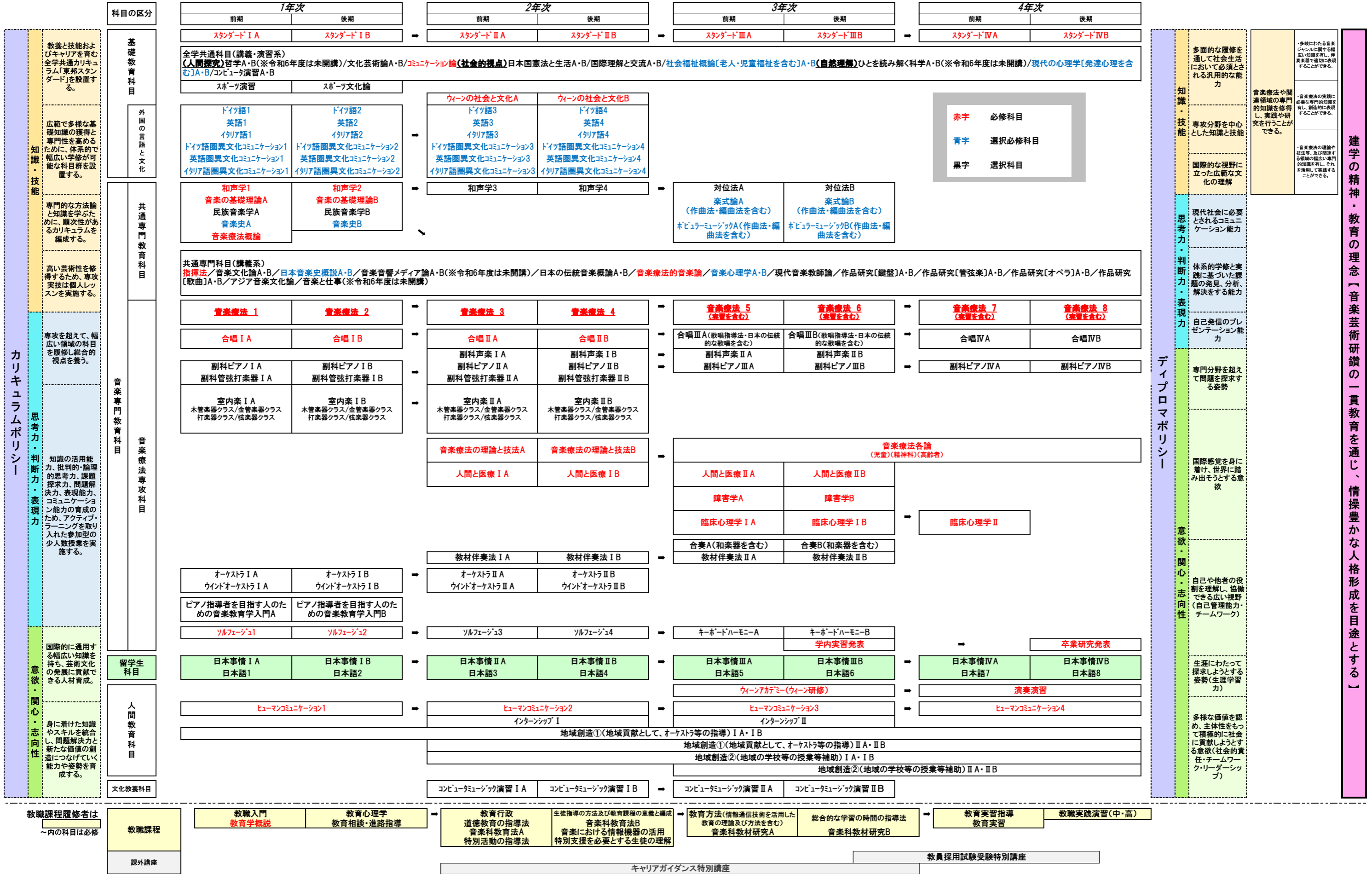
知識・技能
 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
 専攻分野を中心とした知識と技能
 国際的な視野に立った広範な文化の理解

思考力・判断力・表現力
 現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力
 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力
 自己発信のプレゼンテーション能力

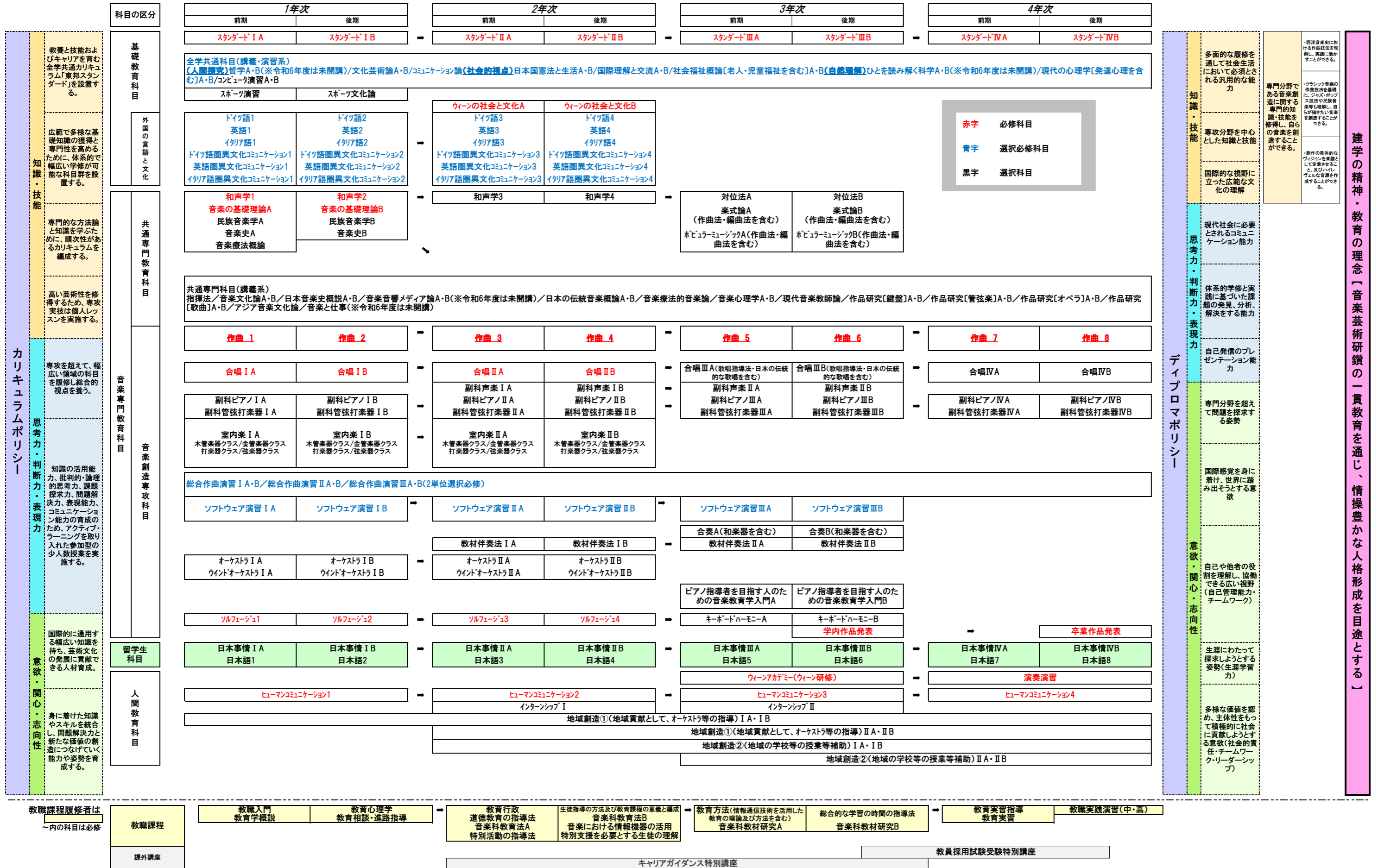
意欲・関心・志向性
 専門分野を超えて問題を探索する姿勢
 国際感覚を身に付け、世界に踏み出そうとする意欲
 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)
 生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)
 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワークリーダーシップ)

建学の精神・教育の理念「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目的とする」

令和6年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【音楽療法専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)



令和6年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【音楽創造専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)



赤字 必修科目
 青字 選択必修科目
 黒字 選択科目

知識・技能
 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
 専門分野を中心とした知識と技能
 国際的な視野に立った広範な文化の理解

思考力・判断力・表現力
 現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力
 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力
 自己発信のプレゼンテーション能力
 専門分野を超えて問題を探求する姿勢

意欲・関心・志向性
 国際感覚を身に着け、世界に踏み出そうとする意欲
 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)
 生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)
 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

建学の精神・教育の理念(音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目的とする)

カリキュラムポリシー

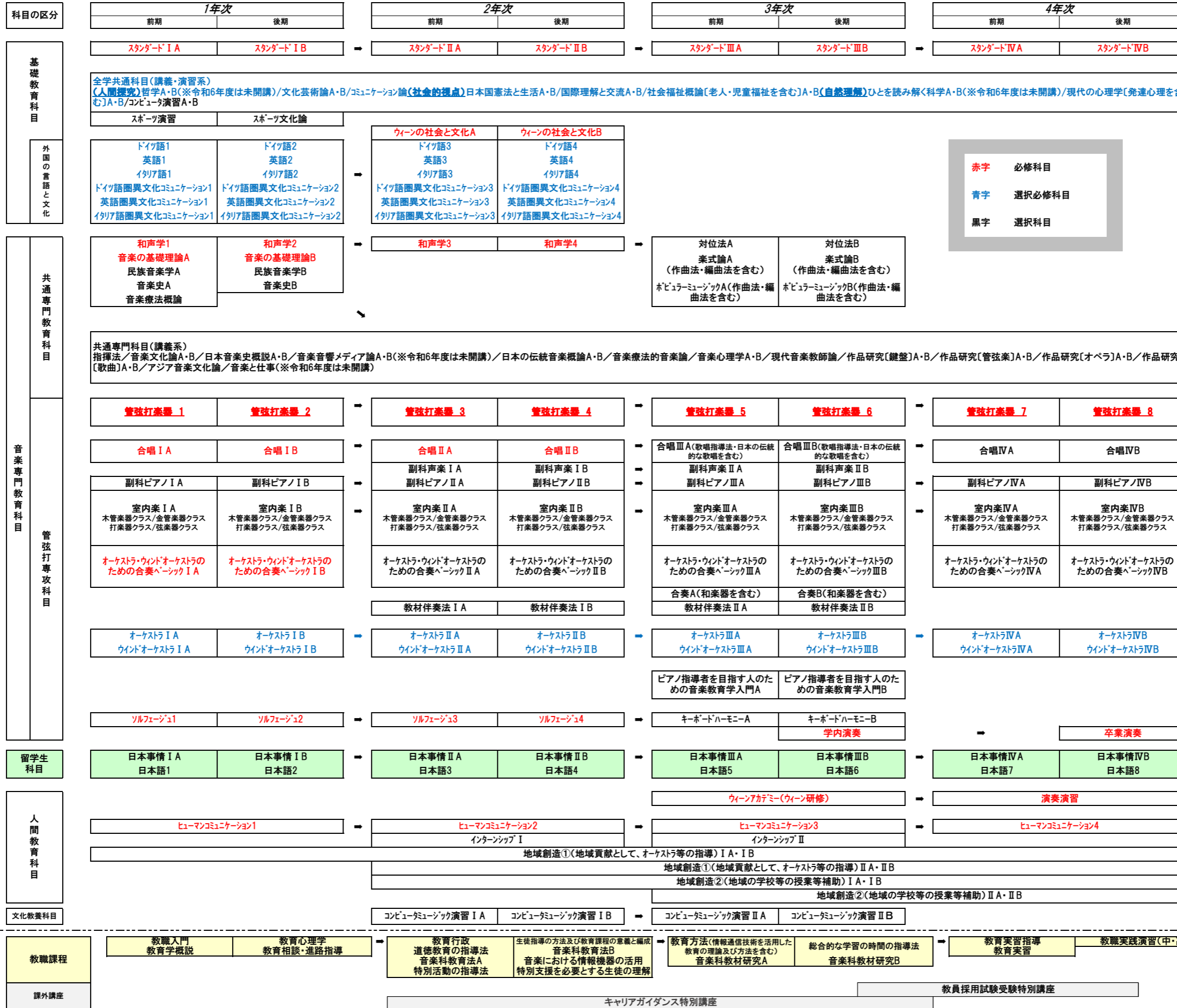
知識・技能
 教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。
 広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。
 専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。
 高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。

思考力・判断力・表現力
 専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブ・ラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性
 国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。
 身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

・西洋音楽史における作曲技法を理解し、実践に活かすことができる。
 ・クラシック音楽の作曲技法を基礎に、ジャズ・ポップス技法や民族音楽等も理解し、自らが創りたい音楽を創造することができる。
 ・創作の具体的なヴィジョンを具現化して定着させると、及びパレヴェル的な音楽を生成することができる。

令和6年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【管弦打専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)



赤字 必修科目
青字 選択必修科目
黒字 選択科目

カリキュラムポリシー

知識・技能
教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。
広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学科が可能な科目群を設置する。
専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。
高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。
専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブ・ラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。
国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。

思考力・判断力・表現力
専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブ・ラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性
身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

ディプロマポリシー

知識・技能
多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
専攻分野を中心とした知識と技能
国際的な視野に立った広範な文化の理解

思考力・判断力・表現力
現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力
体系的な学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力
自己発信のプレゼンテーション能力
専門分野を超えて探求する姿勢
国際感覚を身に付け、世界に踏み出そうとする意欲

意欲・関心・志向性
自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)
生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)
多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

建学の精神・教育の理念(音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目的とする)

教職課程履修者は
~内の科目は必修

令和6年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【声楽専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)

科目の区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	スタンダードⅠA	スタンダードⅠB	スタンダードⅡA	スタンダードⅡB	スタンダードⅢA	スタンダードⅢB	スタンダードⅣA	スタンダードⅣB

全学共通科目(講義・演習系)
 (人間探究)哲学A・B(※令和6年度は未開講)/文化芸術論A・B/コミュニケーション論(社会的視点)日本国憲法と生活A・B/国際理解と交流A・B/社会福祉概論(老人・児童福祉を含む)A・B(自然理解)ひとを読み解く科学A・B(※令和6年度は未開講)/現代の心理学[発達心理学含む]A・B/コンピュータ演習A・B

スポーツ演習	スポーツ文化論	ウイーンの社会と文化A ドイツ語3 英語3 イタリア語3 ドイツ語圏異文化コミュニケーション3 英語圏異文化コミュニケーション3 イタリア語圏異文化コミュニケーション3	ウイーンの社会と文化B ドイツ語4 英語4 イタリア語4 ドイツ語圏異文化コミュニケーション4 英語圏異文化コミュニケーション4 イタリア語圏異文化コミュニケーション4	対位法A 楽式論A (作曲法・編曲法を含む) ホビュラミュージックA(作曲法・編曲法を含む)	対位法B 楽式論B (作曲法・編曲法を含む) ホビュラミュージックB(作曲法・編曲法を含む)
ドイツ語1 英語1 イタリア語1 ドイツ語圏異文化コミュニケーション1 英語圏異文化コミュニケーション1 イタリア語圏異文化コミュニケーション1	ドイツ語2 英語2 イタリア語2 ドイツ語圏異文化コミュニケーション2 英語圏異文化コミュニケーション2 イタリア語圏異文化コミュニケーション2	和声学1 音楽の基礎理論A 民族音楽学A 音楽史A 音楽療法概論	和声学2 音楽の基礎理論B 民族音楽学B 音楽史B	和声学3	和声学4

共通専門科目(講義系)
 指揮法/音楽文化論A・B/日本音楽史概説A・B/音楽音響メディア論A・B(※令和6年度は未開講)/日本の伝統音楽概論A・B/音楽療法的音楽論/音楽心理学A・B/現代音楽教師論/作品研究[鍵盤]A・B/作品研究[管弦楽]A・B/作品研究[オペラ]A・B/作品研究[歌曲]A・B/アジア音楽文化論/音楽と仕事(※令和6年度は未開講)

声楽1	声楽2	声楽3	声楽4	声楽5	声楽6	声楽7	声楽8
合唱ⅠA 副科ピアノⅠA 副科管弦打楽器ⅠA 室内楽ⅠA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	合唱ⅠB 副科ピアノⅠB 副科管弦打楽器ⅠB 室内楽ⅠB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	合唱ⅡA 副科ピアノⅡA 副科管弦打楽器ⅡA 室内楽ⅡA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	合唱ⅡB 副科ピアノⅡB 副科管弦打楽器ⅡB 室内楽ⅡB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	合唱ⅢA(歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む) 副科ピアノⅢA 副科管弦打楽器ⅢA 室内楽ⅢA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス 合奏A(和楽器を含む)	合唱ⅢB(歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む) 副科ピアノⅢB 副科管弦打楽器ⅢB 室内楽ⅢB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス 合奏B(和楽器を含む)	合唱ⅣA 副科ピアノⅣA 副科管弦打楽器ⅣA 室内楽ⅣA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	合唱ⅣB 副科ピアノⅣB 副科管弦打楽器ⅣB 室内楽ⅣB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス
オペストラⅠA ウインドオペストラⅠA	オペストラⅠB ウインドオペストラⅠB	オペストラⅡA ウインドオペストラⅡA	オペストラⅡB ウインドオペストラⅡB	オペラ研究ⅠA 教材伴奏法ⅡA	オペラ研究ⅠB 教材伴奏法ⅡB	オペラ研究ⅡA	オペラ研究ⅡB
ソルフェージュ1	ソルフェージュ2	ソルフェージュ3	ソルフェージュ4	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門A	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門B	キーボードハーモニーA 校内演奏	キーボードハーモニーB 卒業演奏
日本事情ⅠA 日本語1	日本事情ⅠB 日本語2	日本事情ⅡA 日本語3	日本事情ⅡB 日本語4	日本事情ⅢA 日本語5	日本事情ⅢB 日本語6	日本事情ⅣA 日本語7	日本事情ⅣB 日本語8
人間コミュニケーション1	人間コミュニケーション2 インターンシップⅠ	人間コミュニケーション3 インターンシップⅡ	人間コミュニケーション4	ウイーンアカデミー(ウイーン研修)		演奏演習	
地域創造①(地域貢献として、オペストラ等の指導)ⅠA・ⅠB		地域創造①(地域貢献として、オペストラ等の指導)ⅡA・ⅡB		地域創造②(地域の学校等の授業等補助)ⅠA・ⅠB		地域創造②(地域の学校等の授業等補助)ⅡA・ⅡB	
コンピュータミュージック演習ⅠA		コンピュータミュージック演習ⅠB		コンピュータミュージック演習ⅡA		コンピュータミュージック演習ⅡB	

赤字 必修科目
 青字 選択必修科目
 黒字 選択科目

知識・技能
 教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。
 広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。
 専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。
 高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。
 専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。
 国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。
 身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

思考力・判断力・表現力
 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性
 国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。
 身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

基礎教育科目
 外国の言語と文化

共通専門教育科目
 音楽専門教育科目
 声楽専攻科目

留学科目

人間教育科目

文化教養科目

知識・技能
 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
 専攻分野を中心とした知識と技能
 国際的な視野に立った広範な文化の理解

思考力・判断力・表現力
 現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力
 体系的な学修と実践に基づいた課題の発見・分析・解決をする能力
 自己発信のプレゼンテーション能力
 専門分野を超えて問題を探求する姿勢
 国際感覚を身に着け、世界に踏み出そうとする意欲

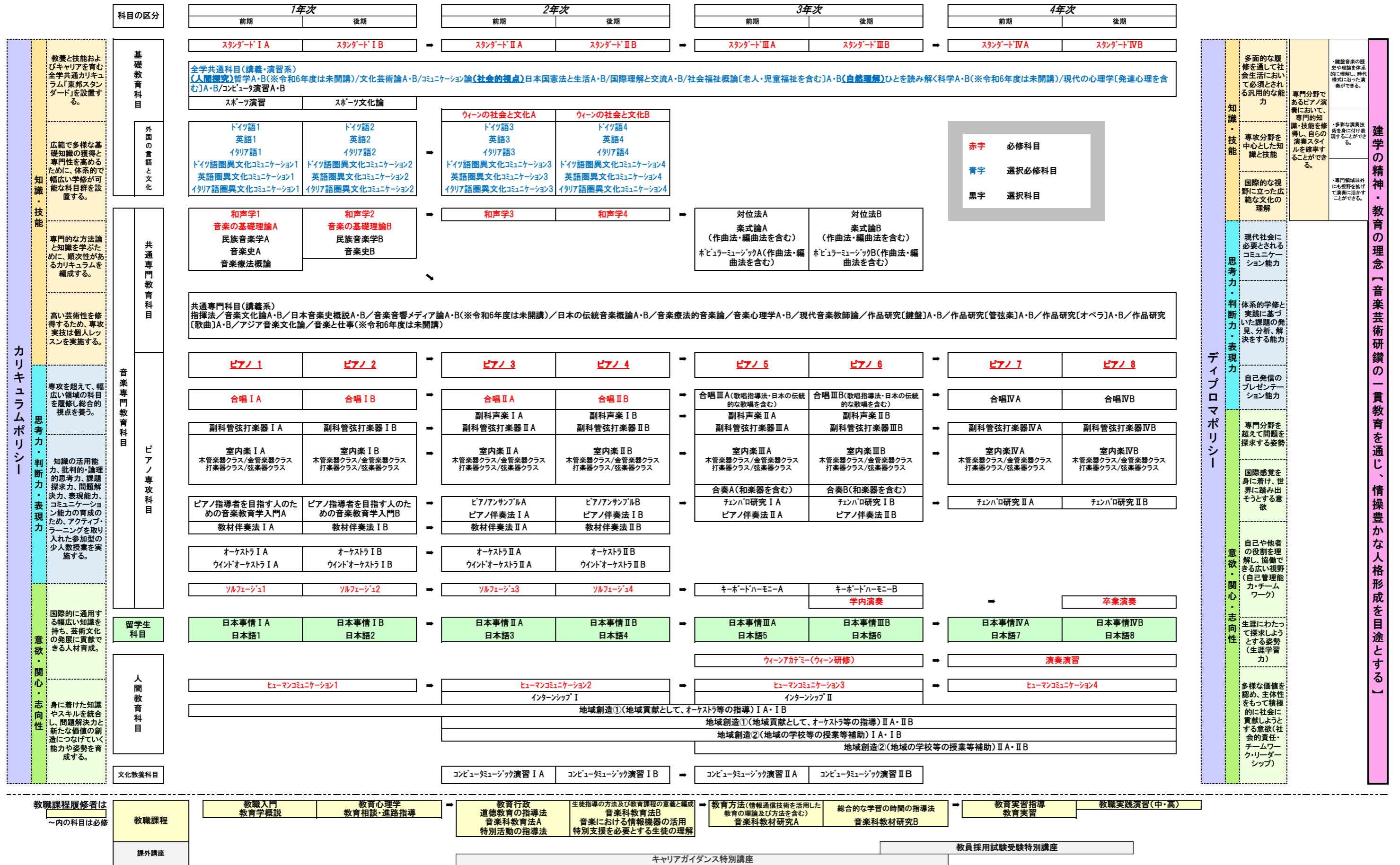
意欲・関心・志向性
 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)
 生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)
 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

建学の精神・教育の理念「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目的とする」

教職課程履修者は～内の科目は必修

教職入門 教育学概説	教育心理学 教育相談・進路指導	教育行政 道徳教育の指導法 音楽科教育法A 特別活動の指導法	生徒指導の方法及び教育課程の意義と編成 音楽科教育法B 音楽における情報機器の活用 特別支援を必要とする生徒の理解	教育方法(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む) 音楽科教材研究A	総合的な学習の時間の指導法 音楽科教材研究B	教育実習指導 教育実習	教職実践演習(中・高)
課外講座						教員採用試験受験特別講座	キャリアガイダンス特別講座

令和6年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【ピアノ専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)



赤字 必修科目
青字 選択必修科目
黒字 選択科目

建学の精神・教育の理念〔音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目的とする〕

知識・技能

- 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
- 専門分野であるピアノ/演奏において、専門的知識・技能を修得し、自らの演奏スタイルを確立することができる。
- 国際的な視野に立った規範的な文化の理解

思考力・判断力・表現力

- 現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力
- 体系的学修と実践に基づいた課題の発見・分析・解決をする能力
- 自己発達のプレゼンテーション能力
- 専門分野を超えて問題を探求する姿勢
- 国際感覚を身に付け、世界に踏み出す意欲

意欲・関心・志向性

- 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)
- 生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)
- 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

カリキュラムポリシー

知識・技能

- 教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。
- 広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。
- 専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。
- 高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。

思考力・判断力・表現力

- 専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
- 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブ・ラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性

- 国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。
- 身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。